

令和5年度 胎内市の学校教育



中条小学校



中条中学校



胎内小学校



きのと小学校



築地小学校



黒川小学校



乙中学校



築地中学校



黒川中学校

地域とともに歩む学校づくり

～コミュニティ・スクールの取組を通して～

子どもにとっての魅力

- 子どもたちの学びや体験が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

地域にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域の拠り所となります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

胎内市教育委員会



〔胎内市教育の基本理念〕

教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み



胎内市教育振興基本計画

健康な心身の醸成

1 スポーツや芸術・文化を楽しむ教育の推進

- ◆子どもの体力向上
- ◆生涯スポーツの推進
- ◆競技スポーツの振興
- ◆芸術・文化の振興



2 安全教育と健康教育の推進

- ◆防災教育の推進
- ◆健康教育の推進
- ◆食育の推進

豊かな人間性の確立

3 心豊かで広い心を持つ人材の育成

- ◆心豊かな人材の育成
- ◆家庭と地域が連携した社会性の育成
- ◆国際感覚を育む教育の実践
- ◆キャリア教育の推進



確かな学力の修得

4 学ぶ子どもの育成

- ◆学力向上への取組
- ◆学校運営の改善
- ◆特別支援教育の推進



ふるさとを誇りに思う人間の育成

5 ふるさとを学び、ふるさとをつくる教育の推進

- ◆ふるさと教育の推進
- ◆文化財の活用と保護

6 安全な教育環境の整備

- ◆安全・安心な教育環境の整備

7 活力あるコミュニティの形成

- ◆学びを通じたコミュニティの再構築
- ◆コミュニティ・スクールの充実



令和5年度 胎内市学校教育の重点

地域とともに歩む学校づくり

学力向上への取組

<成果目標>

- 「授業が分かる」と答える子どもの割合を95%（小学生）、90%（中学生）以上にする。

- ◆少人数指導などによる個に応じた指導の充実
- ◆教員の指導力向上
- ◆家庭と連携した学習習慣の定着と生活習慣の改善
- ◆一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実
- ◆胎内市教育相談体系化連携事業の充実^{*1}

家庭と地域が連携した社会性の育成

<成果目標>

- 進んであいさつする子どもの割合を85%以上にする。
- 地域学校協働活動数を年間延べ400回以上にする。

- ◆毎月10日を「胎内市あいさつの日」とし、家庭・地域と連携したあいさつ運動の推進
- ◆地域学校協働本部を整備し、学校と家庭、地域が連携した各種取組の推進

キャリア教育の推進

<成果目標>

- 将来の夢や目標を持っていると答える子どもの割合を90%以上にする。

- ◆小・中9年間を見通した「ふるさとキャリア教育プラン」の推進
- ◆中学生の職場体験学習や「職ナビゲーション」の充実
- ◆「ふるさと体験学習」を中核とした郷土愛の育成

コミュニティ・スクールの充実

<成果目標>

- 学校運営協議会委員が「目指す子ども像」の具現化が図られたとする割合を80%以上にする。

- ◆学校と地域で課題・目標の共有
- ◆学校運営協議会と地域学校協働本部との連携・協働^{*2}
- ◆「社会に開かれた教育課程」の実現^{*3}

心豊かな人材の育成

<成果目標>

- いじめ見逃しゼロに向けて取り組むとともに、解決割合を100%にする。
- 昨年度（自校）の不登校（30日以上）の児童生徒の割合が減少する。

- ◆道徳教育や人権教育、同和教育の充実
- ◆「学校いじめ防止基本方針」に基づいた確実な取組
- ◆いじめ見逃しゼロスクール集会の充実
- ◆不登校の未然防止、早期解決のための組織的対応
- ◆スクールカウンセラー等関係機関との連携
- ◆胎内市教育の日 9月30日（土）全小中学校での道徳の授業公開

*1 胎内市教育相談体系化連携事業とは、子どもの健やかな成長、自立と社会参加を支援するために、学校・園や行政・関係機関等が連携しながら進める事業です。

*2 地域学校協働本部とは、地域コーディネーターや学校の担当者などが中核となり、地域の住民や団体など多くの方々の参画を得て、地域全体で子どもたちを育てようとする体制です。

*3 社会に開かれた教育課程とは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、新しい時代に求められる資質・能力を育むために、これまで以上に学校が地域社会と連携・協働しながら教育活動等を進めていく計画です。

交流活動を進めます!

胎内市の小中学校では、互いに切磋琢磨し高め合うことをとおして、向上心や豊かな社会性、互いの違いを認め合う感性等を子どもたちが身に付けられるよう、学年間交流、市内外の学校間交流、地域との交流等、様々な「交流活動」を積極的に進めます。

令和4年度の交流活動

市内の学校間交流



【築地小・築地中】
小中合同クリーン
大作戦in村松浜



【きのと小・乙中】
いじめ見逃しゼロ
スクール集会



【黒川中】
開志国際高等学校
男子バスケット
ボール部とのキャ
リア教育講演会



【中条小】
新潟食料農業大学
イラストサークル
の学生と米粉パン
フレット制作



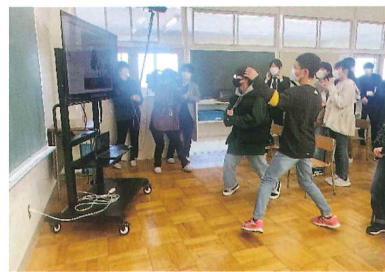
【1年生の職ナビゲーション】
県立中条高等学校1年生と市内4中学校1年
生が一堂に会し、18の企業等から職業に関す
るお話を聞いたり、体験をしたりしました。

県外の学校との交流



【胎内小】
山梨県笛吹市境川
小との板額御前を
テーマにしたオン
ライン交流

海外の学校との交流



【黒川小】
インドネシアの小学
校とのオンライン
交流

地域との交流



【中条中】
「おいでよ本町
マルシェ」で、
まちおこしイベ
ントを企画

交流により、他校や
地域のよさを知り、子ども同士が刺激し
合って、向上心を高めることが期待できます。
人間関係を豊かにすることができ、自分にはない
視点を心得、新たな発想を生むことも
できます。胎内市の子どもたちの
「生きる力」を交流活動で育みます。

